

盛夏に秩父の名山を歩行

熊倉山 蟬笹

標高
熊倉山
1,427m
蟬笹 1,440m

山行実施日
2016年
8月6日
メンバー
(L)M田、
GK、H渡、
H高



山頂にて

熊倉山と蟬笹は何回か計画していたのだが、天候不良等があつてその度に中止にしていた。そうしていたら、登山適期が過ぎてしまい、クツソ暑い8月になってからM田さんが登ろうという。正直気は進まなかったのだが、行きがかり上参加することにした。我ながら物好きである。他に二人の物好き、GKさんとH渡

さんが参加して総勢四名で盛夏の秩父低山歩行が実施されることになった。

ローソン秩父荒川上田野店に集合し、林道に入って宗屋敷尾根の取付に駐車し、歩行開始。ここは林道の分岐に為っていると。蟬笹までの標高差は1000m弱だ。これならば二時間半か三時間で登れるかなと皮算用。

最初の内は話をしながら登っていたが、暑さのせいで皆無口になっていく。1003mのポイントまでは緩い勾配だったのだが、そこからは急勾配となる。おまけに所々露岩が行く手を塞ぎ、回りこまないといけない。登り一辺倒かと思つたらいやいやそんなことはない、アップダウンが結構あつて参ってしまった。頻繁に休憩を取りつつ、当初の見込みから大幅に超過し三時間半弱掛けて見通しの効かない蟬笹に到着。ここで昼食を各自取ってから、M田

さんから提案のあつたハイキング向けのロープワークをやってみる。急勾配の斜面を下降するという想定で、腰にシュリングで簡易ハーネスを作り、そこに安全環付きカラビナを通し、斜面に流した補助ロープを半マスト結び制御しつつ下降するというもの。システム自体は簡単ではある。ただ、私自身がその様な状況に陥つたら、多分肩がらみで降りてしまうかなと思いつつやっていました。

ロープワーク訓練終了後、熊倉山に向かう。到着した熊倉山もやっぱり眺望はない。しかし世の中には熊倉山フリークと言う物好きが結構いるらしい。いるんですよ、そう言う人が、と熱弁を振るうM田さんもその一人でしょうね、多分。

下山は一般道の寺沢コースを辿る。特に危ないところもなく、四方山話をしながら下る。途中の道標に「官舎跡」という表示が出ていたので、何だろうと思つていたら、小屋の跡があつた。どうも営林署の宿泊施設だったらしい。秩父はその昔、林業が盛んだったので、今より多くの人が遊びではなく、仕事の為に山に分け入っていたのであろう。

下っていくと林道が出てきたが、登山道の方がショートカットなのでそのまま登山道を歩行する。目的地の林道にたどり着いたが、ここから車を置いたところまで歩行しないとイケない。「M田さん、複数の車で来たんだから、車を下山場所にデポして置いてもよかつたんじゃないですか？」と尋ねると「いや、これも歩行訓練ですから！」とのお答え。聞いた私が馬鹿でした、ハイ。

林道歩きの中で、沢を横断するところがあつて、そこは盛夏にも関わらず、沢からの涼風が吹いていて極楽の場所だった。そこに男女三名がゴザを敷いて談笑していた。彼らから見たら我々はどこからどう見ても物好きにしか見えないだろう。

三十分強の林道歩きを終え、盛夏の物好き低山ハイイクは終了した。

(H高 記)

コースタイム

宗屋敷尾根取付 8:15-11:40 蟬笹
12:58-13:20 熊倉山 13:40-15:30 林道-16:08 宗屋敷尾根取付